

電力土木の歴史 — 第2編

電力土木人物史 (その 20 —完)

正会員 稲松 技術士センター — 稲松 敏夫

(技術士)

History of Electric civil Engineering

— Part II History of electric

civil Engineer.

by Tosio Inamatsu

概要

筆者は先に 第1回～第11回に わたって電力土木の変遷と、
電力土木の活躍した人々を中心に各河川の水力開発について述べ、
その中で電力土木に一生を捧げた人々のうち代表的人物 60 名を
登載して、その成果をまとめ得た。

さらに 4 年前からその中 30 名の人々の業績を詳述し、第2編電力
土木人物史として 16 名 (知久清之介、伊藤会二、北松友義

目黒雄平 高桑鋼幸一郎、久保田豊、内海清造 熊川信三、
岩本常次、吉田登、 水越達雄、市浦繁、 鵜飼孝造、和澤清吉、
大林士一、金岩明など) について発表し、今回は その10として
数名を発表する。

(明治 ～ 昭和期、土木、開発した人)

(I 分類 、人物史 II 分類 河川、エネルギー)

I はじめに

電力土木120年の歴史と水力、火力、原子力発電所の日本の
各河川の開発の変遷とその間土木技術者として一生を開発、運営に
ささげた人々の業績を100名にわたって開拓したもので
20年間に毎年一回土木学会土木史研究発表会に取り纏め発表した
ものである。

Ⅱ 電力人物史の追加

No1 ～ No10 の間 60名の人物史を発掘した。

さらに40名合計100名については 人々のみを発掘した。

総括については 次表の通りである。

尚、表の中、詳細に記述した60名と比較的最近の人々（新人）

40名、計100名を発掘し得た。

(Ⅲ) 総括

	詳細記述者	新人（比較的最近の人）	計
官庁		_____	
電力中央研究所	平井弥三郎 大西英一	_____	
電源開発	伊藤令二、内海清温	_____	
北海道電力	岩本常次、大橋康次	_____	
東京電力	知久清之介、永田年 水越 達雄	_____	
関西電力	目黒雄平、吉田登	_____	
中部電力	高桑鋼一郎	_____	
東北電力	北松友義、	_____	
北陸電力	金岩明、高橋健 鵜飼孝造、和沢清吉 大林士一、市浦繁	高瀬博、稲松敏夫 小野朝男、岸上重之 米村義一、佐藤源二 井沢政則、渡辺義雄	
中国電力	山本三男、味埜稔	_____	
九州電力	熊川信之、中村光四 郎	_____	
四国電力	浅尾格	_____	
コンサルタント	久保田豊	_____	
計	6 0	4 0	1 0 0

(Ⅳ) 変遷と特色

(1) 親子2代にわたる電力土木に一生を捧げた。

変遷の中、120年にわたり、親子2代にわたり電力土木に一生を捧げた親子は例えば、知久清三郎、北松友義、伊藤令、山本三男など数多くの方々が親子にわたって電力土木に一生を捧げたことを発掘した。

(2) 水力、火力、原子力開発の変遷と特色

水力、火力、原子力開発とそれぞれ120年にわたってダム建設、トンネル建設、発電所建設と土木建設の各界にわたって充分に研究開発を行い立派な成果をあげた。

(3) 技術開発の特色

特にダム、トンネル、鋼構造物、発電所基礎、地盤開発、軟弱地盤の補強など、新しい技術を開発した。

(V) 結論

水力、火力、原子力発電と120年にわたりそれぞれダム、トンネル、発電所、軟弱地盤補強、岩盤開発と立派な技術開発をとげて世界的にも日本の電力開発としてその成果を発揮しそれぞれの立派な技術者が研究開発を進め、立派な成果をあげた。

120年の電力開発歴史を作りあげて今後の技術開発のもととして、100名の立派な電力土木技術に一生をささげた人々を発掘し得て大変感謝している。多くの関係した人々のご協力を得た事に対し厚く感謝して稿を終わる。